

中学校 全学年

【新書シリーズ 1】

☆こんな本を希望

「よりみちパン！セ」シリーズ



☆図書館で準備できる本(全49冊)

No	書名・著者名・出版社	内容紹介
1	みんなのなやみ 1 重松清/著 理論社	胸の奥のモヤモヤしたものを言葉にすることは難しい。でも…。10代の悩みや疑問という「生の声」に、直木賞作家の重松清が、「正解」以上にバリエーション豊かな「こんな考え方」で答えてくれる、心強い相談室。 
2	いのちの食べかた 森達也/著 理論社	魚は切り身で泳いじゃないって、TVで見て知っている。釣り上げられ、冷凍されて、市場に届いて…。じゃあ、大好きな「お肉」はどんな風に食卓に届くのかな。誰も教えてくれない、食べものといのちの大切な関係。
3	さびしさの授業 伏見憲明/著 理論社	どうしたら自分が「生きられる場所」を見つけられるのか。「ぼく」の「いじめられ体験」を踏まえて、「世界」と「君」の間に生じる亀裂に対して、君自身のプライドを保ち続けながら向き合っていく方法を提案する。
4	14歳からの仕事道 玄田有史/著 理論社	将来、自分はどうなるのだろう。働くってどういうことだろう。この本には、「キャリア」というコトバは出てこない。でも、そんな疑問や不安にとことん向き合うための、本当のキャリア教育の本。
5	不登校、選んだわけじゃないんだぜ! 貴戸理恵/著: 常野雄次郎/著 理論社	「不登校は病気じゃない、自分で選んだんだ」。そう言った瞬間にこぼれ落ちていく本当の気持ち。元小学校不登校者の研究者と元明るい不登校エリートが、不登校ハッピーエンド説を蹴散らし、リアルな言葉を探る。
6	ハッピーになれる算数 新井紀子/著 理論社	 「数学」と聞いただけで、つい視線が宙に泳ぐキミ。おもいきって「算数」まで戻って、そもそもの仕組みを、のんびり楽しく考えてみよう。そして「期末試験80点」と「ハッピーな人生」の両方を、手に入れよう。
7	ひかりのメリーゴーラウンド 田口ランディ/著 理論社	誰にも強制されない勉強、誰にも答えてもらえない疑問。オトナになっても解決できない、どうしても気になる大切なことと、どうやって向き合い続けるか。魂の清冽な軌跡を描いた、著者渾身の純愛小説。
8	バカなおとなにならない脳 養老孟司/著 理論社	寝ないとバカになるのか、近頃の子どもは本当に切れやすいのかなど、子どもたちからの容赦のない質問の数々に、深い同情をもって養老先生が答える。養老哲学への、掛け値なしの最もやさしい入門書。 
9	みんなのなやみ 2 重松清/著 理論社	子どもたちを主人公とするたくさんの物語を書いてきた作家が、10代の悩みを通して、子どもたちに贈る言葉。シゲマツ流「悩みと付き合うコツ」を直球で伝授。大反響の第1弾に続く、勇気あふれる相談室。

10	<p>オヤジ国憲法でいこう! しりあがり寿/著: 祖父江慎/著 理論社</p>	<p>宇宙的スケールで「何でもあり」な存在・オヤジが贈る、5条15項の「オヤジ国憲法」。個性は必要なし、友だちは大切なものにあらずなど、些細なことに悩み苦しむ若者の日常を迎え撃つ、アナーキーな人生のルール。</p>	
11	<p>気分はもう、裁判長 北尾トロ/著 理論社</p>	<p>身近で小さいいざこざから、窃盗・詐欺・殺人に至るまで、法廷を覗けば、どんな事件にも人間ならではの底知れぬドラマがある。スリリングでエキサイティングな傍聴の世界へ、読者を招待する1冊。</p>	
12	<p>死ぬのは、こわい? 徳永進/著 理論社</p>	<p>鳥取のホスピス「野の花診療所」を開業する著者による、一番やさしいデス・エデュケーション。死ぬってどういうことですか? 死んだらどこにいくんですか? 子どもの、そして大人にとっても永遠の謎「死」について考える。</p>	
13	<p>だれか、ふつうを教えてください! 倉本智明/著 理論社</p>	<p>両手が使えなければ口をお皿に近づけて食べる。行儀が悪い! と「ふつう」の人なら思うけど、その「ふつう」とは一体、誰にとっての「ふつう」なんだろう。「ふつう/障害」について真正面から考察する、子ども向けの障害学。</p>	
14	<p>男子のための恋愛検定 伏見憲明/著 理論社</p>	<p>カッコよくないと彼女はできない? あの子を振り向かせる秘訣はある? 不可思議な心のメカニズムから、セックスにひそむリスクを回避するためのノウハウまでを解説した、新世紀を生き抜く男子のための「恋愛論」決定版。</p>	
15	<p>演劇は道具だ 宮沢章夫/著 理論社</p>	<p>自己表現が苦手な人は演劇に向いている。不自由な、かたいからだをぐいっと動かしたときに、きしむ音。それこそが表現というものだから-。「演劇」を使って世界や自分やあれこれを考える、シンプルで刺激的な演劇入門</p>	
16	<p>コドモであり続けるためのスキル 貴戸理恵/著 理論社</p>	<p>「みんながみんな絶対おとなにならなきゃいけない」なんて、いったい誰がいつ決めたんだろう? 無理しておとなになる必要なんて、ぜんぜんなかった。不登校の経験がある著者が、「生きづらいコドモ」のために贈るメッセージ。</p>	
17	<p>世界を信じるためのメソッド ぼくらの時代のメディア・リテラシー 森達也/著 理論社</p>	<p>メディアと情報の洪水のなかで、ぼくらはなにを疑い、なにをどう信じ、考えていったらいいんだろう? いま子どもたちに、若い人たちに、そしてわれわれ大人にとって切実に必要で、もっともビビッドなメディア・リテラシー。</p>	
18	<p>男子のための人生のルール 玉袋筋太郎/著 理論社</p>	<p>ひとは、男に生まれるのではない。男に「なる」のだ-。自らのからだやコンプレックスとの向き合い方、人との関係のいちばん基本の姿勢など、玉袋筋太郎が満を持して子どもたちへおくる、最強の「人生のルール」。</p>	
19	<p>生き抜くための数学入門 新井紀子/著 新曜社</p>	<p>ヘンなことばっかのこの世界で、しゃきっと立っていたい。だったら、数学だ! 争いを回避し、自由に生きるための数学入門書。真っ向からの数学体験は、人生というバトルフィールドに行く君の力に、きつとなる。</p>	
20	<p>「美しい」ってなんだろう? 森村泰昌/著 理論社</p>	<p>あたまの中を真っ白にして、世の中のいたるところにある「ふしぎ」を見つけよう! それが「美しい」と出会うための最初の一步。登校拒否教師のモリムラ先生が、広く大きく奥深い「美」の世界を案内します。</p>	
21	<p>オンナらしさ入門<笑> 小倉千加子/著 理論社</p>	<p>「甘え上手になんないってママから言われてる」「オトコのまゝで態度変えるなんて、あたりまえじゃん?」ワタシたち、イバラの道を行くの! でも、見せてあげるね。あなたがいる場所の「ヒミツ」と「希望」を。</p>	
22	<p>ひとりひとりの味 平松洋子/著 理論社</p>	<p>味覚の勝負は15歳から! たよりになるのは、じぶんのカラダ。決め手になるのは、じぶんの舌。よく知る味をともだちに、未知との出会いにココロよじらせ、いざススメ、さて味わわん、味覚道! 食べもののあれこれを綴る。</p>	

23	神さまがくれた漢字たち 続 古代の音 山本史也/著 理論社	漢字のなかに本来ひそむ、人間と自然との豊かなかかわりと、あされるほどの深い知恵から何を学ぶべきか？「字形」という「かたち」に思いをめぐらせながら、さらに「ことば」を生みだす母胎、「音」についての探求を加える。	
24	失敗の愛国心 鈴木邦男/著 理論社	深く、複雑な「愛国心」をまるごとそのからだで体験してきた新右翼の雄が、自らの「失敗」を足がかりに示す、「力」よりも「言葉」へ、「正義」よりも他者を受け入れる真摯な「謙虚さ」への、切実な問いと願いに満ちた軌跡。	
25	「悪いこと」したら、どうなるの？ 藤井誠二/著 武富健治/マンガ 理論社	子どもでも死刑になるの？ 少年院ってどんなところなの？ 改正少年法は子どもを守ってくれるの？ 「少年犯罪」の現状を知りぬく著者がさまざまな疑問に答える。武富健治によるマンガも収録。	
26	あのころ、先生がいた。 伊藤比呂美/著 理論社	ひとりぼっちでも何かに夢中になること。ことばが世界を開いてくれること。教えてくれたのは、みんな先生たちでした-。思春期のこどもたちへ詩人がおくる、ステキな思い出たち。	
27	建築バカボン 岡村泰之/著 理論社	日本一コストパフォーマンスの高い、ウソをつかない家づくりでひっぱりだこの建築家が、多数の写真やイラストとともにバカ正直に語る、ユーモアに満ちた、子どもにもわかる家づくり入門。	
28	この世でいちばん大事な「カネ」の話 西原理恵子/著 理論社	「働く」はもっと、「しあわせ」につながっていい。だから、歩いていこう。自分の根っこを忘れないために。「貧乏」は、札束ほどにリアルだった…。切れば血が出る、読めば肉となるサイバラの物語。	
29	阿修羅のジュエリー 鶴岡真弓/著 理論社	よく見れば、金色の胸飾りに花柄の巻きスカートの阿修羅像。仏像やマリア様のジュエリーから携帯ストラップまで、宝石と装飾から発見する、常識をくつがえす魂の文明史。	
30	きみが選んだ死刑のスイッチ 森達也/著 理論社	ホームルーム、裁判員制度、死刑。この3つに共通する、最大の注意点はなんでしょう？ 「罪と罰」「冤罪」「裁判員制度」「死刑」について、著者の考えをやさしく語ります。	
31	どんとこい、貧困！ 湯浅誠/著 理論社	他人を、そして自分を痛めつけ、人間の尊厳も社会のシステムもボロボロになった現在。子どもたちに向けて、派遣村村長が静かな情熱をもって、「貧困」「自己責任」について書き下ろす。重松清との対談も収録。	
32	前略、離婚を決めました 綾屋紗月/著 理論社	お母さんがどうして離婚を決めたのか-。子ども時代から結婚、出産、そして離婚までを赤裸々に綴りながら、「自立」ではなく「ともに生きる」ことの困難さとかけがえのなさを伝える。	
33	この気持ちいったい何語だったらつうじるの？ 小林エリカ/著 理論社	「わたし」と「あなた」。「ここ」と「そこ」をつなぐ、ただひとつの、ことば-。国内外で活躍する人気イラストレーター・マンガ家による、言葉へのリアルでせつない旅の軌跡。	
34	こんな私が大嫌い！ 中村うさぎ/著 理論社	「あるがままの自分を受け入れて、自分を好きになりなさい」なんてウソだ！ そう思うあなたにおくる、自分嫌いの呪いを解き放つための心得。すべてのなぐさめとウソばかりのキレイごとを蹴散らします。	
35	日本の神様 畑中章宏/著 理論社	日本人の心の底に古くから宿り、人生の節目節目で願いをかけてきた、たくさんのまだ見ぬ神様たち。ある父娘を水先案内人に、日本人の謙虚で自由な心があらわしてきた、知られざる「神様」の姿とかたちに迫る。	
36	「怖い」が、好き！	恐怖を覚えながらも、どうして人は、この世ならざるモノたちに萌えるのか-。	

	加門七海/著 理論社	あの世との境目からつかのま立ち現れる「お化け」たちを描く、身も心も震わす“恐怖教育”の一冊。
37	こども東北学 山内明美/著 新曜社	3.11以降、あたりまえに語られる「東北」という名称の起源と、「まん中」との関係の歴史を、じいちゃん、ばあちゃんの声なき声を交えてやさしく説き起こしながら、「原発」大国日本が切り捨ててきた事実をみつめる。
38	生きのびるための犯罪(みち) 上岡陽江/著: ダルク女性ハウス/著 イースト・プレス	薬物・アルコール依存の女性たちが、こどものころから失いつづけたものはなんなのか。この社会で生きのびるために、奪われつづけたものはなんなのか…。依存症の女性たちの姿と、その回復の道のりを描く。
39	あたりまえのカラダ 岡田慎一郎/著 イースト・プレス	日本の文化・生活様式が培ってきた、日本人にとって自然な「あたりまえのカラダ」を取り戻そう。自分の中に眠る忘れられたチカラを引き出す体の動かし方・使い方を紹介する。
40	ふたりのママから、きみたちへ 東小雪/著: 増原裕子/著 イースト・プレス	同性結婚式を挙げたレズビアンのカップルが、子どもを迎えるための準備や、「自分を受け入れる」ということ、新しい時代の家族のかたちなど、自分たちの生き方や考え方について綴る。
41	おばあちゃんが、ほけた。 村瀬孝生/著 新曜社	「ほけた」お年寄り達に日々振り回されることで見えてくる、人間の最大限の不思議とどうしようもない魅力。老人通所施設「宅老所よりあい」の所長による、笑わずにはいられない、泣かずにはいられない仰天レポート。
		
42	日本という国 小熊英二/著 新曜社	私たちはどこから来て、これからいったい、どこへ行くのか？「日本という国」を考えるうえで大切なことを伝える本。明治の日本のはじまり、戦後日本の道のりと現代について、平易にかつ、深く解説する。
43	人間の条件 そんなものない 立岩真也/著 新曜社	「できるか」「できないか」で人間の価値が決まる。そんなこの世のきまりや価値が正しい理由はない。だったらなぜそうなっているのか、どうするのか。「生存学」の巨匠がやさしく説き明かす。マンガ、イラスト、対話も収録。
44	はじめての沖縄 岸政彦/著 新曜社	沖縄って、どういう場所なのだろう。私たちは、沖縄をどう語るのだろう。沖縄を研究テーマとする社会学者が、はじめて沖縄に出会ったときにさかのぼり、沖縄について、個人的な体験から考えたことを綴る。写真も多数掲載。
45	ロボットは東大に入れるか 新井紀子/著 新曜社	AIにしかできないことは何か。そして、人間に残されていることとは何か。東大模試で偏差値72.6を叩き出したAI「東ロボくん」の成長と挫折のすべてを紹介しながら、「東ロボくん」の将来と私たちの未来について考える。
		
46	いま生きているという冒険 石川直樹/著 新曜社	生きるとは、何だ？ 最年少で世界7大陸最高峰登頂を達成し、自然だけをたよりに進む航海術を学ぶなど、世界を素手で旅する「冒険者」が綴る、ことばを超えた出会いへのやさしいいざない。
47	「国語」から旅立って 温又柔/著 新曜社	母国語とアイデンティティ、歴史と境界線…。台湾生まれで「中国語がへたくそ」な日本語作家が、ことばを知り、文字を読み、文章を書く個人的な日々を綴る。
48	ザ・ママの研究 信田さよ子/著 新曜社	タイプ分けチャートから傾向と対策、観察と対象化の具体的な方法まで、ママをマンガ、イラスト満載で総合研究。女の子が、心楽しく、自分の人生を生きるためのママの研究読本。「ザ・パパも研究」「ザ・ばあばも研究」を増補。
49	平成日本の音楽の教科書 大谷能生/著 新曜社	日本の「近代化」に音楽が果たした役割を確認し、平成30年間分の教科書と指導要領の驚くべき内容と、その目的を検証。「音楽の教科書」を来るべき新しい時代にどう使えるか、稀代のジャズミュージシャン・批評家が提示する。